

令和4年度 多治見市民病院指定管理者評価委員会議事録

- 【日時】** 令和4年7月21日（木） 13:30～14:45
- 【場所】** 多治見市役所 駅北庁舎 4階第2会議室
- 【出席者】** 中村 俊之 委員長（東濃保健所長）
尾関 恵一 委員（多治見市監査委員）
各務 利明 委員（多治見市44区区長）
鈴木 亜紀子 委員（市民代表）
（市民病院）
今井裕一（市民病院院長）池田達也（市民病院事務長）
（事務局）
澤田誠代 市民健康部長、谷口知子 保健センター所長（進行）、
保健センター（大畑幸二、柴田恭兵）

【次第】

- 委員紹介、事務局紹介
- 市民健康部長あいさつ
- 委員長により開会
- 傍聴人有無の確認
傍聴人無し
- 会議の成立確認
全員出席により成立
- 事務局から評価シートの見方、評価の定義等の説明
- 指定管理者、指定期間、業務の範囲の説明

【議事概要】

（事務局）

～資料1について説明～

1 診療について

（委員）患者数等の計画値はどのように設定しているのか。

（事務局）

はじめに5年単位で事業計画を立て、実績を踏まえた上で随時計画を見直すような方法を取っている。令和3年度の場合、令和2年度に立てた令和6年度までの5年計画が基本となっている。

（市民病院）

コロナの状況もあり患者数等の計画を立てるのは正直難しいため、目標値という数字を掲げた。入院患者・外来患者ともに、東濃地域の他病院と比較すると、概ね目標を達成できたと考えている。

（委員）

コロナの状況下においても、入院外来ともに前年度を上回る患者数となっ

ており、よく頑張っていたいただいていると思う。事務局評価は△となっているが、○で良いのではないかと思う。

(委員) 小児科の患者数が減少している理由はどのように分析しているか。

(市民病院)

コロナが始まって以来、インフルエンザなどその他の感染症が激減したため、患者数が減少している。これは、全国的な現象であると考えている。

(委員) 医師数が2人増加したのは研修医の増ということによろしいか。

(市民病院) 年度末時点での比較で見ればそういうことで良い。

(委員) 産科開設の見込みはどのようなか。

(市民病院)

産科用の病床をコロナ患者の病床として活用しているため、コロナの状況が続く限り、産科開設に向けて動くことは難しいと考えている。

(委員)

産科医師の確保なども難しいとは思いますが、市民としては産科があることは安心材料のひとつとなるため、開設に向けて頑張っていたきたい。

(委員長)

診療についての各項目の評価について、すべての項目を○とする。

(事務局)

【評価の確認】職員配置○、外来診療○、入院診療○、安全管理・医療倫理○

2 政策的医療について

(委員)

小児科患者が減少傾向にあるのは、市民病院だけの問題か、他の病院でも同様の傾向にあるのか。

(市民病院)

市民病院だけでなく、地域の医療機関等でも、小児科の患者が減少している傾向にある。インフルエンザをはじめとする感染症の減少が大きな要因であると考えている。

(委員)

発達障害に関する専門外来患者数減少の要因は何か。

(市民病院)

専門外来を担っていた医師が退職したためである。後継者不足の問題もある。今後は、発達障害を特殊な分野と捉えず、小児医療の中で実施する体制づくりも必要であると考えている。これは、当院だけでなく、県全体で検討していく課題であると考えている。

(委員)

政策的医療は、通常不採算部門となる分野を実施するため市が負担金を出しているものである。それを踏まえた上で適切な診療の提供に向けて取り組んでいただきたい。また、市においても、病院に求めるものを明確にしておく必要がある。

(委員長)

各項目の評価について、救急医療は○とする。小児医療について、事務局評価は△となっているが、全国的に小児患者の減少、小児医師確保が課題となっている中で、よく頑張っていたらと思うので、評価は○としたいと思います。リハビリテーション医療については、回復期をはじめとして前年度を上回る実績を上げており、○とする。保健衛生事業については、年々実施件数も増えており、市民の健康維持への貢献をしており、○とする。災害時医療については、災害に備えた体制整備をしており、○とする。

(事務局)

【評価の確認】救急医療○、小児医療○、リハビリテーション医療○、保健衛生事業○、災害時医療○

3 地域医療連携等について

(委員長)

前年度よりも少し紹介率が減少しているのは、コロナが影響しているのか。

(市民病院)

具合が悪くなった時に、最初に市民病院を受診するという人が増えているということもあるかもしれない。身近な病院という意味ではそれも良いかと考えている。

(委員長)

ただ、国の方針として、最初はかかりつけ医を受診し、市民病院は次の段階の少し高度な医療を提供するという体制づくりを目指しているため、もう少し紹介率が上がると良いかなとは思っている。

(市民病院)

県病院へは1日あたり3人ペースで紹介と行っており、今後も開業医、県病院双方との連携を図っていきたい。

(委員)

地域医療全体として考えると、やはり市民病院の紹介率は高い方が良いと思う。より一層地域医療連携に努めていただきたいという激励の意を込めて、この項目の評価は△としてはどうか。

(委員長)

各項目の評価について、地域医療機関の連携等は△、それ以外の項目については○とする。

(事務局)

【評価の確認】地域医療機関との連携等△、市民参加の促進○、市の施策協力○、介護保険事業等高齢福祉の協力○

4 施設維持管理、その他について

(委員長)

施設の維持管理については適切に実施されており、評価は○とする。

(事務局)

【評価の確認】施設等の維持管理○

(委員)

平成 29 年度以降、市民病院の決算は黒字を計上しており、頑張っていた
いていると思う。

(委員長)

そのほかに質問・意見はないか。

(委員)

特になし

(委員長)

これをもって閉会とする。(14 : 45 終了)